

次回展のご案内

# Inviting Fortune

Auspicious Symbols in Japanese Art

休館日  
開館時間

月曜日、14(火)、23(天皇誕生日)、25(火)

\*13月(祝)と24月(休)は開館

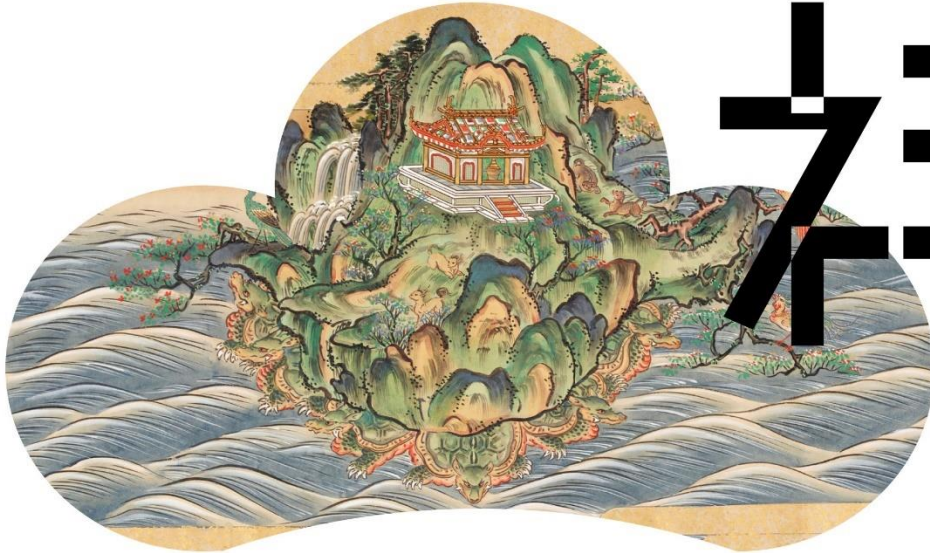
午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

\*ただし17(火)は午後1時開館

毎週金曜日・土曜日は午後8時まで開館

(入館は午後7時30分まで)

\*ただし131(金)と228(金)を除く



瑞  
祥  
の  
か  
た  
ち

皇居三の丸尚蔵館

1.4 (土) <sup>令和7年</sup> 2025. 3.2 (日)

[前期] 1月4日(土)～2月2日(日)

[後期] 2月4日(火)～3月2日(日)

  
皇居三の丸尚蔵館

The Museum of the Imperial Collections,  
Sannomaru Shozokan

## 開催趣旨



新しい年の到来を喜び、人生の節目に幸福を願う気持ちは、古くからさまざまな造形にたくされてきました。なかでも、古代中国において不老不死の仙人が住むと考えられた蓬萊山<sup>ほうらいざん</sup>は、日本では吉祥図として描かれ、長寿を象徴する鶴と亀が添えられた島台などの縁起物としても表されました。やがて理想郷としての蓬萊山への憧れは、霊峰・富士の姿に重ねられていきます。

また鳳凰<sup>ほうおう</sup>は、優れた天子が世に現れる兆しとして古代中国で尊ばれた伝説の鳥です。わが国では、古くより鳳凰は高貴さの象徴として絵画や工芸に取り込まれ、皇室ゆかりの品々には数多く登場します。そして麒麟<sup>きりん</sup>と唐獅子<sup>からじし</sup>も空想上の霊獣ですが、威厳のある凛としたその姿は、泰平の願いをこめて表現されてきました。

本展では、めでたいことの訪れを告げる、これら「瑞祥<sup>ずいしやう</sup>」の造形美をご紹介します。

広報画像 1 <sup>こくほう どうしよくさいえ ろうしやうはくほうず いとうじゃくちゆう</sup> 国宝《動植綵絵 老松白鳳図》伊藤若冲

江戸時代、明和3年(1766)頃【展示期間:2/4~3/2】

## 本展覧会の見どころ

1. 皇室伝来の書跡・絵画・工芸品の中から、蓬萊山や霊峰・富士、松や鶴、亀、宝船に霊獣といった「おめでたい」モチーフの数々が一堂に会します。新たな年の幕開けにふさわしい縁起物の美をお楽しみください。
2. <sup>いとうじゃくちゆう</sup>伊藤若冲から<sup>よこやまたいかん</sup>横山大観まで、江戸時代から近代にかけて活躍した作家による日本美術の名品が、新年を華やかに彩ります。
3. 新年のひとときを、皇居東御苑内に位置する皇居三の丸尚蔵館で皇室の歴史と文化を感じながらお過ごしいただけます。



広報画像 2 <sup>ほうらいざんえまき</sup>《蓬萊山絵巻》上巻(部分) 江戸時代(17~18世紀)【展示期間:2/4~3/2】

## 開催概要

名 称	ずいしやう 瑞祥のかたち Inviting Fortune: Auspicious Symbols in Japanese Art
会 期	2025年1月4日(土)～3月2日(日) 前期:1月4日(土)～2月2日(日) 後期:2月4日(火)～3月2日(日)
休 館 日	月曜日(ただし1月13日と2月24日は開館し、翌火曜日休館)、 2月23日(天皇誕生日) ※その他諸事情により臨時に休館する場合があります
開 館 時 間	午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) ※ただし1月7日(火)は午後1時開館  毎週金曜・土曜は夜間開館。午後8時まで開館。(入館は午後7時30分まで) ※ただし1月31日(金)と2月28日(金)を除く
入 館 料	一般 1,000円、大学生 500円 ※高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、運転免許証、マイナンバーカードなど)をご提示ください。 ※障がい者手帳をお持ちの方およびその介護者1名は無料。
作 品 件 数	46件 ※出品作品は全て皇居三の丸尚蔵館収蔵
主 催	皇居三の丸尚蔵館
会 場	皇居三の丸尚蔵館 (〒100-0001 東京都千代田区千代田1-8 皇居東御苑内)
ウェブサイト S N S	[皇居三の丸尚蔵館ウェブサイト] <a href="https://shozokan.nich.go.jp/">https://shozokan.nich.go.jp/</a> [公式 Instagram] <a href="https://www.instagram.com/shozokan_pr/">https://www.instagram.com/shozokan_pr/</a> アカウント名 @shozokan_pr
お問い合わせ	050-5541-8600(ハローダイヤル)
<p>【報道に関するお問い合わせ】</p> <p>皇居三の丸尚蔵館広報事務局(共同PR内) 担当:三井 〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア10階 TEL: 03-6264-2382 E-mail: shozokan-pr@kyodo-pr.co.jp</p>	

## 皇居三の丸尚蔵館しょうぞうかんについて

平成元年(1989)に上皇陛下と香淳皇后こうじゆんにより、皇室に代々受け継がれた美術品が国に寄贈されたことを機に、その保存と研究、公開を目的として、平成5年(1993)11月に皇居東御苑内ひがしぎょえんに開館しました。

収蔵品は、各時代を代表する名品が多く含まれており、日本を中心とする東洋の美術工芸品のほか、幅広い時代、地域、分野の品々がみられることが特長です。

施設の拡充をはかり令和元年(2019)からは、新館の建設が進められています。令和5年(2023)には管理・運営が宮内庁から独立行政法人国立文化財機構へ移管され、「皇居三の丸尚蔵館」と名称も新たに一部を開館しました。令和8年(2026)に全館開館を予定しています。



広報画像 11 皇居三の丸尚蔵館 外観



## 主な展示作品



広報画像 3

ひ いると ころ に ほん よこやま たいかん  
**《日出 処 日本》横山大観** 昭和 15 年(1940)  
 【展示期間:1/4~3/2】



広報画像 4

ほうおうのず ゆうきそめい  
**《鳳凰之図》結城素明** 大正 14 年(1925)  
 【展示期間:1/4~2/2】



広報画像 5

きょくじつほうおうず いとうじゅくちゆう  
**《旭日鳳凰図》伊藤若冲** 江戸時代、宝暦 5 年(1755)  
 【展示期間:1/4~2/2】



広報画像 6

そうかくおきもの つか だ しゅうきょう くらかわよしかつ  
**《双鶴置物》塚田秀鏡・黒川義勝**  
 大正 4 年(1915)  
 【展示期間:1/4~3/2】



広報画像 7

たからがね ながさきまる え ざきえいぞう  
**《宝船「長崎丸」》** 江崎栄造 大正5年(1916)  
 【展示期間:1/4~3/2】



広報画像 8

おおとりおきもの うんのよしもり  
**《鳳置物》** 2代 海野美盛 大正5年(1916)  
 【展示期間:1/4~3/2】



広報画像 9

きりんこうろ  
**《麒麟香炉》** 江戸時代(19世紀)  
 【展示期間:1/4~3/2】



広報画像 10

とうちようからじし ぬまたいちが  
**《陶彫唐獅子》** 沼田一雅 昭和3年(1928)  
 【展示期間:1/4~3/2】

※出品作品は全て皇居三の丸尚蔵館収蔵

**イベント情報** ※申込方法など詳しくは当館ウェブサイトをご確認ください。

○展示室 de 作品解説(研究員によるギャラリートーク)

1/10(金)、2/7(金) 午後6時35分~(20分程度) 参加無料(当日の入館券必要)

○特別鑑賞会

1/31(金)、2/28(金) 午後6時~8時まで 事前申込制・先着順 有料

○こども鑑賞会

1月上旬ごろ、対象:小学校3~6年生、事前申込制、参加無料(当日の入館券必要)